

# Sky Rising in Yusuhara

## I. 冒険のはじまり (A Quest Unveiled)

梶原学園 ALT : パトリック・ルイス

生まれてからずっと、僕はつい最近までカリフォルニアで暮らしていました。自分にとっての故郷とは、車がひっきりなしに通る道路や、海辺に広がる砂浜や、晴れ渡った空といつでも結びついているものでした。そして今回日本へ引っ越してきたことは、人生の上での一番新しい冒険と言えますし、梶原での生活は、僕が将来、人生を振り返る時、間違いなくその一部と言えるものになると思います。自分の赴任地が梶原町だと初めてわかった時、すごく好奇心をそそられたことを覚えています。四国や高知県のことは知識として知っていましたが、「雲の上の町」は初めて耳にする場所だったからです。そして、自分の新しい住まいとなる場所のことを、楽しみながら調べてみました。大都市から離れ、森林に囲まれた町で暮らす、という考えは、理想的なように思えました。あれこれ準備している間に、日本人の友人のひとりが、ちょっとした予備知識として、あの偉大な武士、坂本龍馬のことを教えてくれました。日本で、大都市とは違った場所で生活する、というのは僕の夢でもありました。外国からやってきた多くの人たちが決して体験することができないような、日本の一面をこの目で見てみたいと思っていましたから。

アメリカを離れ、東京で最初のオリエンテーションに数日参加した後、高知にやってきました。高知龍馬空港から梶原へと向かう途中、僕は安らぎと、とても静かな時の流れを感じていました。東京の美しい都市の景観や、にぎやかな夜の雰囲気も間違いなくすばらしいものでしたが、こちらで見る豊かな自然は心の栄養だなあ、と思ったのです。慣れない環境などでストレスを感じている時、自然は心身をリラックスさせてくれる存在です。道中で眺めた森林や山々のおかげで、僕は落ち着いた気分になりました。そして梶原に着いた時、これ以上はないほどにびっくりしました。町が、周囲の自然と完全に調和していたからです。まるでこの町が、山や森と一緒に形成されていったように思えたほどです。町と自然が、一体となって息づいている



御幸橋と梶原川です。僕の冒険がここから始まります！

ように感じられます。アメリカの多くの町や都市には、周囲の景観とのこうした一体感は見られません。そもそも、そうしようと考えたことさえない、というのが実情でしょう。梶原はまた、生命力に満ちているとも思えます。早朝の時間帯であってさえ、町の鼓動を感じることができますから。伝統と現代性の調和には、本当に美しさがあります。それは日本という国と、梶原という町とが等しく有している、歴史と文化の反映でもあるのでしょう。僕の母国アメリカが、日本のこうしたところにもっと目を向けたらいいのに、と思います。過去を振り返らずに、これからのことばかりを考える人が、あまりにも多すぎる、と感じているからです。

この学園だよりを書いている時点で、日本にやってきて2週間、そして梶原で生活を始めて最初の1週間が経ちました。この特別な国で、そしてこの美しい町で暮らすことができるのは、本当に光栄なことです。町のみなさんは、僕が想像していたよりもはるかに温かく迎えてくださいました。梶原で生活する間、この町のお役に立てればと思っています。お手伝いできることなら、何でもするつもりでいます。最後にもう一度……この町から、僕の新しい冒険を始めることができるのは本当にラッキーでした。これ以外のもっとよい選択肢なんて、ありませんでしたから！

(日本語訳 : 町 ALT 森竹弘喜)